

## 平成26年度 事業計画

### 1. 事業方針

当センターは、設立以来14年、南部5町村による広域センターとなって6年目を向かえます。この間、24年度契約額において僅か減額となったものの、25年度は若干ではあるが増額となり、大変厳しい状況のなか概ね順調に事業を展開しております。

我が国の経済状況は、大都市圏を中心とする大企業等が過去最高の収益を記録したとの報道があるものの、地方においてはそのような状況は感じる事ができず、依然として低迷が続き先行き不透明で大変不安であります。政権交代後オリンピック開催決定等大型事業が決定され明るい兆しも見えてきたかに思われますが、一方では消費税増税をはじめ住民生活には負担増が益々重くのしかかる状況であります。また、シルバーに関係する補助金の大幅削減、事業量及び会員の減少、更に従来 of 事業費が基盤拡大事業へと変更され弾力性のある運用ができなくなるなど、シルバーを取り巻く環境は大変憂慮すべき状況で創設以来最大の転換期に差し掛かってきております。

このような状況のなか、国では高齢者が将来にわたって現役であるための諸施策として、基盤拡大事業(会員拡大、就業拡大)を積極的に取り組み財政基盤の強化を図ることを求めています。

一方、急激に進む少子高齢化社会において、シルバーの果たす役割は大変重要であります。健康で働く意欲のある高齢者が就業を通じて、生きがいの充実と社会参加の推進を図り、会員の能力を活かした地域社会づくりと、地域の福祉の向上に寄与することを目的としており、現代の複雑な社会情勢の中にあつて、シルバー人材センターは稀な「社会システム」として地域社会に定着しています。今後も増加する地域のニーズに応えるため就業開拓の充実と推進及び地域社会にあつた独自事業、生涯現役社会実現環境整備事業、シニアワークプログラム事業、地域ニーズ対応事業等の実施をはじめ、社会貢献できる事業を創意工夫し、25年度に策定した「中期5ヵ年計画」に基づき目標に向かって着実に実施していかねばならない。

安全で適正就業を基本に、会員、役員、職員が一丸となってシルバーの基本理念「自主・自立、共働・共助」のもと、豊かな活力ある地域づくりを推進するため26年度は、以下の重点目標を定め積極的に事業を展開します。

#### 重点目標

1. 安全就業を基本に事故ゼロを目指し適正就業に努める
2. 会員拡大(特に女性会員)と会員の資質の向上に努める
3. 各部会等の組織の充実と強化に努める
4. 新規事業の開拓と就業機会の確保に努める
5. 福利厚生事業の積極的支援に努める
6. 広報活動の強化に努める(広報誌、チラシ、ホームページ他)
7. 「自主・自立、共働・共助」による事業の運営に努める

## 2. 事業実施計画

### (1) 安全・適正就業推進事業

「安全は全てに優先する」を基本として、「事故ゼロ」を目標に安全適正就業の徹底を図る。

毎年数件の事故が発生しておりますが、25年度は大きな事故もなく、会員一人ひとりが安全意識と細心の注意により就業を行った結果です。しかし気を緩めることなく組織を挙げて重篤事故はもとより、全ての事故の撲滅を図らなければならない。

- ① 機械器具安全取扱講習会の開催（実技講習会）
- ② 安全・適正就業研修会の開催
- ③ 作業別安全・適正就業マニュアルの励行
- ④ 安全・適正就業への積極的な呼びかけ
- ⑤ 健康管理講習会・交通安全講習会の開催
- ⑥ 安全パトロールの実施
- ⑦ 作業前の安全ミーティング実施の徹底（安全確認シート）
- ⑧ 部会の開催
- ⑨ 「標語の募集」を行い優秀作品の表彰

### (2) 広報・普及啓発活動事業

広報活動は、シルバー事業の内容について、広く地域住民に理解していただく最良の手段であります。このため事業内容、会員の拡大及び就業開拓については、あらゆる機会を通じて広報活動と普及啓発を行う。

- ① 地区役員の下、啓蒙活動を活発に実施する(地区代表、各班長)
- ② 普及啓発促進月間(10月)を中心に、諸事業を積極的に推進する  
シルバーフェア、8地区ごと独自のボランティア活動等の実施
- ③ 町村広報誌、チラシ、ホームページ等による広報活動
- ④ 会員1人が1会員を増やす取り組みを行う
- ⑤ 研修等を通し会員それぞれが資質の向上を図る
- ⑥ 広報誌(シルバーだより)の充実を図り、年2回以上発行する
- ⑦ 部会の開催

### (3) 事業の拡大と就業開拓事業

財政基盤の強化と拡大のため、会員及び就業拡大に取り組みます。また、地域社会のニーズに応えるため、各種事業を検討し実施します。

26年度には、団塊の世代が全て65歳に到達し、その世代を中心に会員拡大(特に女性会員)を行い、高齢者が地域社会で活躍できる場を創出する事業を実施していきます。また、会員の公平な就業及び就業率向上を目指します。

基盤拡大と強化のためには、就業機会の開拓と確保が必要不可欠であり、そ

の充実が会員数の増加につながることから、積極的に新規事業の開拓を推進します。

- ① 地域の隅々まで就業開拓に力を入れる
- ② 公共関係の受注を更に充実・拡大する
- ③ 会員の「コミ運動」(一会員一仕事の開拓)
- ④ 各地区、役員は率先して就業開拓に努める
- ⑤ 地域班、職群班と情報を密にして就業開拓を推進する
- ⑥ 閑散期(冬期間)の就業開拓を行う
- ⑦ 未就業会員対策の検討
- ⑧ 果樹、庭木の剪定講習会実施
- ⑨ 部会の開催

#### (4) 組織の活性化と会員相互の連絡強化

「自主・自立、共働・共助」による事業の運営を図り、共に支え合い協力し組織の強化に努める。

- ① 専門部会組織の活性化、連絡協調を図りシルバー組織の強化を図る
- ② 地区組織と各部会との連絡協調を図り地域社会の活性化を支える
- ③ 各事業部会の活動の活性化を図るとともに連絡協力体制を強化する
- ④ ボランティア活動等の実施（普及啓発部会と連携）  
(各地区特徴ある計画を地区代表の下、企画実行する)
- ⑤ 先進地視察の計画実施
- ⑥ 総会等出席義務行事への参加率の向上に努める
- ⑦ 親睦会活動を支援し会員の交流と福祉の向上に努める
- ⑧ 部会の開催

#### (5) 独自事業

各地区等において特色ある「独自事業」を実施する。新野地区は引き続いて「トウモロコシ栽培と販売」を、他の地区もそれぞれ創意工夫し実施を検討する。

#### (6) シニアワークプログラム事業

本年度は、国の委託事業として長野労働局、公共職業安定所、県シルバー連合会と連携し「剪定緑地管理講習」を実施します。9月から10月にかけて9日間の講習を受講し就職、就労に結び付ける事業で、募集人員10名、年齢は55歳以上です。事業実施に当たりご協力をお願いします。